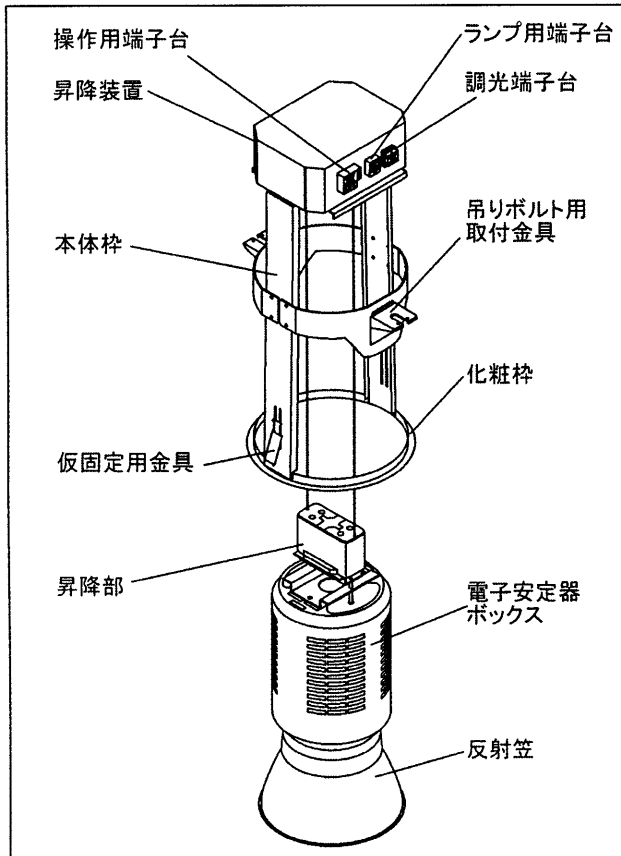


| | |
|-------|------------------|
| 形名 | DDU-4230PD-200AN |
| 適合ランプ | FHT42EX |

■各部のなまえ



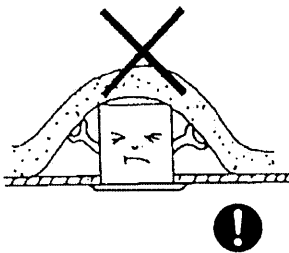
■仕様

| | | | |
|--------------|------------|---|---|
| 形名 | | DDU-4230PD-200AN | |
| ランプ部仕様 | 適合ランプ (別売) | FHT42EX | |
| | ソケット | DFS-5002 | |
| | ランプ回接点数 | 2接点 (1回路) | |
| | ランプ回路接点容量 | 15A・300V | |
| | 操作定格電流 | 100V | 1.47A |
| | 200V | 0.72A | |
| | 242V | 0.60A | |
| 駆動部仕様 | 駆動部定格 | 100V 50/60Hz | 200V 50/60Hz |
| | 昇降高さ | 9mまで | |
| | 昇降速度 | 約1m/分 | |
| | 連続使用時間 | 30分以内 | |
| | 操作定格入力 | 入力電流 0.26A 入力電力 22W (50Hz) 25W (60Hz) | 入力電流 0.12A 入力電力 20W (50Hz) 22W (60Hz) |
| 使用可能周囲温度 | 5°C～35°C | | |
| 本体重量 (ランプ除く) | 11.0kg | | |

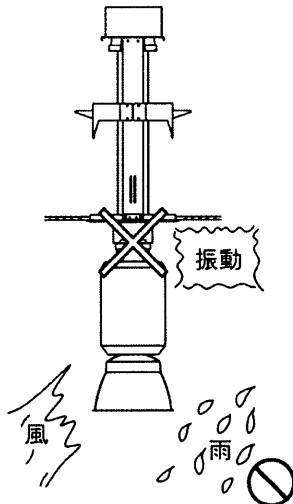
■安全上のご注意

⚠ 警告

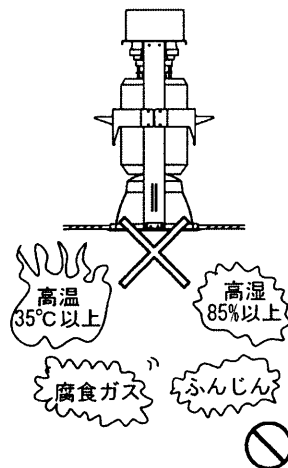
① この器具は、断熱施工不可です。そのまま施工されますと、火災の原因となります。



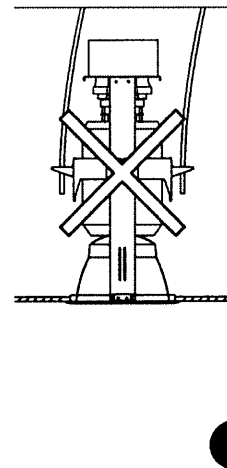
② 風のあたる場所 (屋外、軒下等) 振動の激しい場所、雨のあたる所には、使用できません。



③ 塵、ほこり、よごれのひどい腐食しやすい場所、高温、高湿の場所では使用できません。

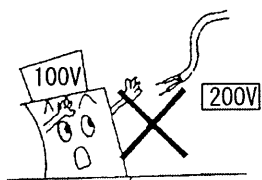


④ 必ず施工されますと昇降不能となります。装置本体と天井穴のセンターを合わせてください。

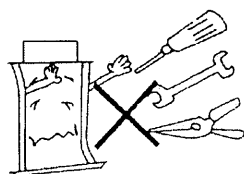


警告

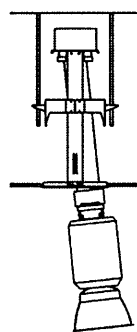
① ランプ電源及び操作電源は100Vと200Vを確認の上結線してください。間違っていると火災、故障の原因となります。



② 器具の改造、部品の交換は、絶対におやめください。

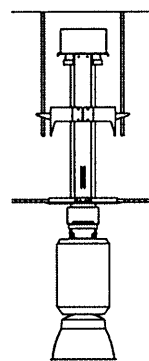


③ ワイヤーの「ねじれ」「ゆれ」「回転」がある状態での昇降は絶対におやめください。



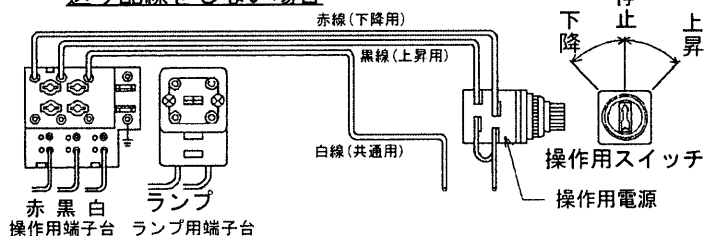
注意

④ 30分以上の連続昇降動作は、行わないでください。



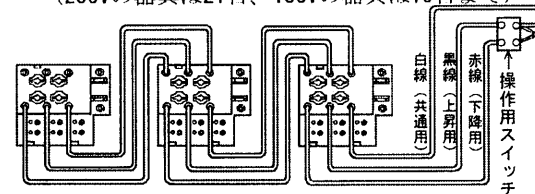
結線図

送り配線をしない場合



送り配線をする場合

(200Vの器具は21台、100Vの器具は10台まで)



- ・ 操作電源100Vと200Vを間違えて結線されますと火災、故障、寿命劣化の原因になります。
- ・ 誤って共通線を下降、または上昇に結線した場合、リレーやモーターが、焼損する恐れがあります。送り配線する場合には、特にご注意ください。
- ・ 操作盤への結線時にもご注意ください。



施工方法

1. 器具を取り付ける前に

① 吊りボルト取付

- ・ 埋め込み穴の真上に吊りボルトを取り付けてください。

② 天井穴あけ

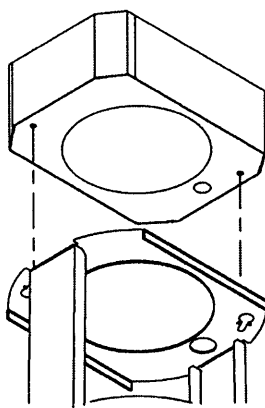
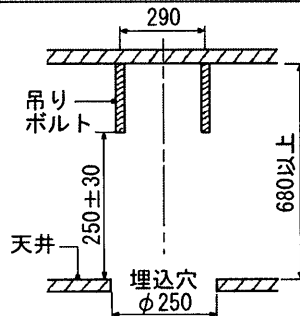
- ・ 化粧天井にφ250の穴をあけます。
- ・ 水平天井専用です。傾斜天井に取り付ける場合には、斜天井用取付枠を別途お求めご使用ください。
- ・ 器具重量を考慮して十分耐えうる取付け面強度を確保してください。取付け面強度が不十分の場合、落下の原因となります。

③ 昇降装置取付け

- ・ 昇降装置の取付けねじ2本(M5)を緩めて、器具本体枠の取付け穴に、確実に固定してください。

- ・ 傾斜されて取り付けたら化粧枠に電子安定器ボックスが当たり、落下する恐れがあります。

- ・ 吊りボルトの中心と、埋め込み穴の中心との芯ずれは、10mm以下にしてください。

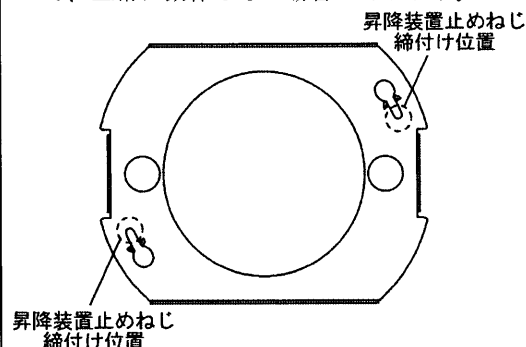


- ・ 吊りボルトのズレが大きい場合には、正常に動作しないことがあります。

- ・ 吊りボルトは器具変形防止のため、垂直に下ろしてください。

- ・ 器具重量に十分耐えるよう、ボルト取付け部の強度を確保してください。

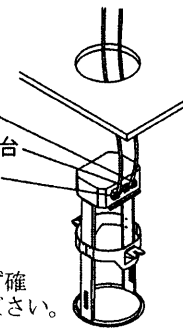
- ・ 昇降装置を本体枠に設置する際は、下図の位置でねじ止めを行ってください。止め位置がずれると、昇降装置と本体枠の中心がずれて、正常に動作しない場合があります。



2. 電源線の接続

- ・操作電源とランプ用電源、調光用電源をそれぞれの端子台に、表示の通り正しく結線してください。
- ・電源線は、1.6mmまたは2mmの単線を使用してください。
不完全な場合には、接続不良による発熱・火災の原因となります。
- ・器具に電源線を接触させないでください。電線の温度が上がり焼損の原因となります。
- ・アース端子を使用して、D種(第3種)接地工事を行ってください。
不完全な場合には、感電の原因となります。

調光用端子台
ランプ用端子台
操作端子台

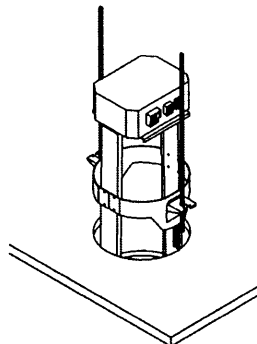


※ 100V、200Vを必ず確認し結線してください。

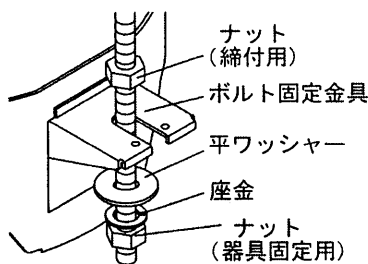
3. 本体の取り付け

① 本体挿入

- ・電源線の接続が終わりましたら、吊りボルトにM10ナット(締付用)を挿入します。
- ・次に、装置本体を天井の埋め込み穴から押し上げます。
- ・吊りボルト用取付金具を広げ、吊りボルトを挿入した後、本体の仮固定用金具で器具を仮止めしてください。
- ・M10平ワッシャー、座金を挿入し、M10ナット(器具固定用)で器具を固定してください。
化粧枠と天井面の隙間が無くなる程度を目安とし、M10ナット(器具固定用)を締め付けてください。
- ・締付用M10ナットを締め付けてください。
- ・仮固定用金具2箇所を全て引き下げ、固定してください。
- ・仮固定用金具で固定する時には、天井材の強度を確認の上、補強板などを用いて御使用ください。

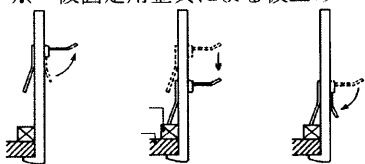


※ 器具押し上げ時に電線を傷つけないようにご注意ください。



※ 吊りボルトを強く締めすぎると取付金具や器具が変形する恐れがあります。締め付け力は4N以下としてください。

器具重量を考慮して十分耐えうる取付け面に取り付けてください。取付けに不備があると、落下の原因となります。



①引き上げる ②引き下げる ③固定する

② 本体取付

- ・吊りボルトのナットを締め付けて、装置本体を固定してください。
- ・ナットを締め付ける際に、工具が装置本体の部品に当たらないようにご注意ください。
- ・仮固定用金具は仮止め用です。本体の固定は、必ず吊りボルトで行ってください。
- ・取り付けに不備がありますと、落下の原因となります。
- ・断熱材・防音材をご使用の場合、誤った施工をしますと器具の異常及び火災の原因となります。
- ・断熱材・防音材は装置本体より10cm以上離し、上に被せたり覆ったりしないでください。
- ・水平天井専用です。傾斜天井に取り付ける場合は、斜天井用取付枠を別途お求めご使用ください。
- ・傾斜されて取り付けると化粧枠に電子安定器ボックスが当たり、落下する恐れがあります。



4. 反射板・ランプの取り付け

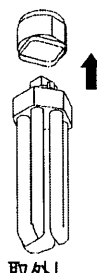
- ① 反射笠側と電子安定器ボックス側の両方の▲マークを合わせて、反射笠を電子安定器ボックスにM4ねじで取付けてください。
- ② ランプ(別売)を確実に取付けてください。
 - ・ランプとsocketの間に反射笠と電子安定器ボックスを繋いでいる落下防止ワイヤーが挟み込まないよう、注意してください。正常に点灯しないばかりか、故障、地絡の原因となります。
 - ・ランプの口金ピンをsocket穴にあわせ、奥まで確実に差込んでください。
 - ・ランプを差込んだ状態で「カチッ」と音がするまで回転させ、取付けてください。(回転角 約 15度)

③ ランプが外れないことを確認してください。

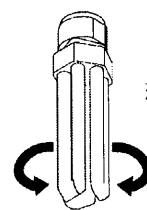
- ・ランプ装着が確実にないと落下する恐れがあります。

反射笠側▲マーク位置

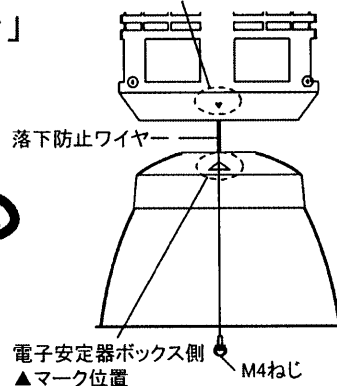
「カチャ」



取外し



取付け



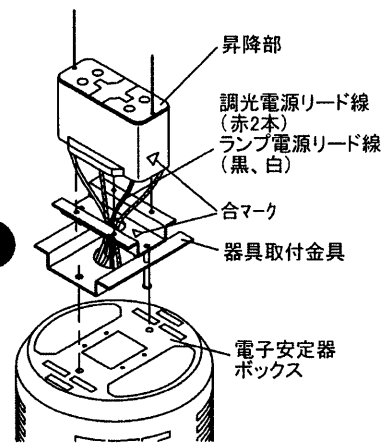
電子安定器ボックス側 ▲マーク位置 M4ねじ

- ・反射板・ランプは、汚れや傷が付きやすいため直接素手で触れないように取扱には十分に注意してください。
- ・昇降部と反射板は水平に注意し、各々の止めネジで確実に締め付けてください。
不備がありますと落下の原因となります。
- ・ランプの取り付けはランプの「説明書」をご確認の上、行ってください。
- ・ランプの取り付け及び交換の際には、必ず適合ランプを取り付けてください。

- ・ランプ交換や点検時には、必ずランプ電源を切ってから行ってください。
高圧パルスが発生していて危険です。
- ・ランプ交換や点検時には、必ずランプ電源を切ってから行ってください。
高圧パルスが発生していて危険です。
- ・万一ランプが破損した場合には、速やかにランプ電源を切り、絶対に点灯させないでください。

4. 電子安定器ボックスの取り付け

- ① 屋内配線、または仮配線が済みしたら、操作スイッチを下降に置いて昇降部を降ろしてください。
- ② 調光電源リード線（赤2本）ランプ電源リード線（黒、白）の4本を器具取付金具中央の穴に通してください。
- ③ 器具取付金具を昇降部にM4ねじ4本で確実にねじ止めしてください。器具取付金具には取付け方向があります。合マークを合わせて取り付けてください。ねじ止めが確実に行われていない場合、落下の原因となります。
- ④ 調光電源リード線（赤2本）を調光用電源端子台に、ランプ電源リード線（黒、白）をランプ用電源端子台に確実に差し込んでください。結線方法を誤ると、正常に点灯しないばかりか、故障の原因となります。
- ⑤ 器具取付金具と、電子安定器ボックスをM5ねじ2本にて確実にねじ止めしてください。ねじ止めが確実に行われていない場合、落下の原因となります。また、調光電源リード線及びランプ電源リード線が器具取付金具に引っ掛かったり、挟まれたりしないようにしてください。
ランプ不点及び火災の原因となります。



■ 試運転について

器具の取り付けが終わりましたら必ず足場のある内に試運転を行ってください。また試運転時は必ず制御盤の高さ設定を行ってからご使用ください。高さ設定方法は制御盤の取扱説明書をご参照願います。

試運転の方法は、■ 使用方法とご注意（別紙「保管用」取扱説明書）を参照ください。

- ① 結線の確認
 - ・結線を間違えますと、昇降不可または、逆動作のような現象となります。配線を再確認してください。
 - ・特に送り配線の場合は、その列の全ての配線を、ご確認ください。
- ② 施工の確認
 - ・芯ずれ施工されますと昇降不能となります。装置本体と天井穴のセンターを合わせてください。
- ③ 上昇させる前に
 - ・施工後、ワイヤーがたるんだ状態で試運転させますと、ワイヤーがクロスし器具が回転します。
 - ・器具が回転したまま上昇させますと、ロックできない、ワイヤーがキックなどの不具合が生じますので、必ず、ワイヤーのクロスを修正して、上昇させてください。
- ④ その他
 - ・オートリレーの使用電圧範囲は、装置本体の端子部で定格電圧の±6%V以内でご使用ください。
 - ・ロック付近での急激なスイッチ切り替えは、おやめください。一時的に逆動作になったり、動作不能になることがあります。
 - ・配線時に、共通線の静電容量が大きくなり、ELB等がトリップすることがあります。ご注意ください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。

東芝ライテック株式会社

照明器具事業部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL (046) 862-2092
FAX (046) 861-8796

001CE128B